



2020 年度 事業計画書

一般社団法人

埼玉県バスケットボール協会

2020年度 事業計画

基本方針

- 1 埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興を図る。
- 2 これまでの選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り、世界へ羽ばたく人材を育成する。
- 3 バスケットボール競技を通じて、生涯スポーツ社会の実現を目指す。
- 4 指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、指導者研修事業をはじめとする各種研修事業及び啓蒙活動の充実を図る。

事業概要

本協会は、上記基本方針の下、埼玉県内のバスケットボール競技の普及・振興のため各種事業を推進します。

本年は、東京オリンピックバスケットボール競技がさいたまスーパーアリーナで開催されます。県民の一員として埼玉県と協調しながら、競技ボランティアや都市ボランティア、アスリートの応援など様々な形で参画し、大会を盛り上げてまいります。さらにバスケットボール競技の普及・振興や多文化交流の推進など未来につながるレガシーを創り上げてまいりたいと思います。さらにバスケットボールファンの拡大を図ると共に登録チーム数・競技者登録数の増加を目指してまいります。

強化対策事業として、第75回国民体育大会（鹿児島国体）では、各種別8位以内入賞を目指し、種別毎に強化対策に取り組みます。第74回茨城国体では、残念ながら本大会出場を達成できませんでした。昨年の借りを返すべく目標の各種別8位以内を目指します。

普及事業の一環として、アンバサダー制度を継続し、アンバサダーの増員を図ります。埼玉県ゆかりの著名人にアンバサダーを依頼し、いろいろな機会に埼玉のバスケット情報を発信していただく計画です。また、SNSを活用した発信に努めてまいります。

ユース世代の育成に力を注ぎ、時代を担う青少年の健全育成の充実に努めます。U12、U15、U18の各カテゴリー部会を本協会内に設置して3年目を迎えます。益々充実した部会運営に取り組みます。昨年は、U15カテゴリーでの県内初のリーグ戦が開始されました。更に充実した内容へステップアップを図ります。U12カテゴリーでは本年よりこれまでよりも充実した内容のリーグ戦が導入されます。ユース世代のリーグ戦が安定して運営できるよう県協会が支援してまいります。また、育成センター（DC）が2019年度より本格的に稼働しました。月1回、年10回のDC事業が安定して運営できるようこちらも県協会がバックアップしてまいります。

シニア世代の競技環境の充実に努めます。「日本スポーツマスターズ大会」への参

加、「埼玉県シニア大会」の開催等、積極的に事業を展開します。また、「社会人連盟40/50の部」にも力を注ぎ、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

2018年から始動した「埼玉県社会人バスケットボール連盟」の運営を支援してまいります。本協会が一丸となって、社会人のバスケットボール環境をより良いものとなるようバックアップしてまいります。

2047年の本協会創立100周年に向けて、埼玉のバスケットボールファミリーが一体となってバスケットボール競技の振興・発展に取り組むための中長期計画の立案に取り組んでまいります。

1 部会活動

(1) 総務部

- ① 諸会議の準備
- ② 中長期計画の立案
- ③ ガバナンスコードの策定

(2) 財務部

- ① D-fund 施行に伴う予算編成及び会計処理
- ② 各加盟団体を含めた本協会会計一元化の推進
- ③ 公正かつ適正な会計処理に推進

(3) 渉外部

- ① アンバサダーの増員
- ② 大型スポンサーの獲得
- ③ SNSの活用／各カテゴリーとの連動
- ④ 中長期計画の立案

(4) 事業部

- ① 普及事業の再構築（Wリーグ、埼玉BBドリームカップ、埼玉カップ）
- ② 中長期計画の立案
- ③ 普及活動の推進

(5) 競技部・競技会委員会

- ① 各種大会実施要項の集約
- ② 天皇杯・皇后杯埼玉県予選会の競技運営
- ③ その他本協会主催事業の競技運営
- ④ 移籍に関すること

(6) 審判部

- ① ルールの伝達と普及
- ② 審判派遣事業
- ③ 審判養成事業（講習会／研修会）

- ④ T O 担当者の育成
- ⑤ T O 担当者の東京オリンピック・パラリンピックへの派遣

(7) 強化部

- ① 第75回国体（鹿児島県）強化対策
- ② 国体チーム全体を総括する強化担当者の配置

2 委員会活動

(1) ユース育成委員会

- ① U12、U13、U14、U15、U16 のDC（育成事業）の推進
- ② U12、U13、U14、U16 県指定選手の選考
- ③ ジュニアアスリートアカデミー事業との連携による強化事業の推進

(2) 選手選考委員会

- ① 国体選手の選考

(3) スポーツ医科学委員会

- ① 国体等の県選抜選手へのサポート
- ② 指導者向け講習会の講師派遣（指導者養成委員会と連携）
- ③ 医科学的情報の発信
- ④ 医事相談の窓口
- ⑤ 医科学的な調査
- ⑥ イベント等への救急医の派遣

(4) 指導者養成委員会

- ① 新コーチライセンス制度の案内及びこれに伴う各種事業の運営
- ② コーチデベロッパーの養成
- ③ JBA公認D級・C級コーチ養成講習会の開催及び運営
- ④ JBA公認コーチリフレッシュ研修会の開催
- ⑤ SBAにおけるJBA公認コーチバンクの作成
- ⑥ 指導者における暴力・暴言の撲滅に関する啓蒙活動の充実

(5) 裁定委員会

- ① 裁定に関わる調査、事実認定
- ② 懲罰案の作成と理事会への答申

(6) 規律委員会

- ① 規律に関わる調査、事実認定
- ② 懲罰案の作成と専務理事への答申
- ③ 各種大会における規律担当者の配置

3 アンダーカテゴリー部会

(1) U12カテゴリー部会

- ① 関東ミニバスケットボール大会の準備・運営
- ② 埼玉県スポーツ少年団と連携した部会運営

- ③ 各種大会の運営
- ④ リーグ戦の運営と 2021 年度以降の新リーグ戦設定の準備
- ⑤ 育成センター（DC）事業の諸準備（ユース育成委員会と連携）
- ⑥ 年間スケジュールの再構築

(2) U15 カテゴリー部会

- ① 登録チーム数及び競技者登録数の増加
中学部活チームの登録の推進
- ② 中学部活チーム、クラブチーム、Bクラブチームの把握
- ③ U15リーグとU14リーグの運営／（試合環境の質の向上・改善）
- ④ U14—U15 リーグ入替戦（スプリングマッドネス）の運営
- ⑤ U15 全国BB選手権大会埼玉県予選会／ウィンターマッドネスの運営
越谷アルファーズとの連携及び他カテゴリーとの協力
- ⑥ 育成センター（DC）事業運営（ユース育成委員会と連携）
- ⑦ 2021 年度以降の競技会の見直し・再設定等の検討
 - ・U5 選手権大会埼玉県予選の在り方
 - ・U13 リーグの新設

(3) U18 カテゴリー部会

- ① 関東高等学校女子バスケットボール大会の準備・運営
- ② 全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ 2020）埼玉県予選会の運営
- ③ U17 夏季支部大会の運営
- ④ 四支部大会の運営
- ⑤ 高体連バスケットボール専門部と連携した部会運営
- ⑥ リーグ戦化に向けての準備
- ⑦ 育成センター（DC）事業の諸準備（ユース育成委員会と連携）